

石川、富山両県の住民が北陸電力(富山市)に対し、志賀原発1、2号機(石川県志賀町)は必要な安全性を備えていないとして運転差し止めを求めた訴訟の第二回口頭弁論が四日、金沢地裁であった。東京電力福島第一原発事故後に福島県から石川県に避難した原告一人が意見陳述し、

早期の廃炉を求めた。事故の翌日に福島県田村市から夫婦で避難した浅田真理子さん(66)は、自然に囲まれて農業を営んでいた生活が突然奪われた経験の中に放り込まれたようにと振り返り「二度と私たちのような被害者をつくらないでください」と訴えた。

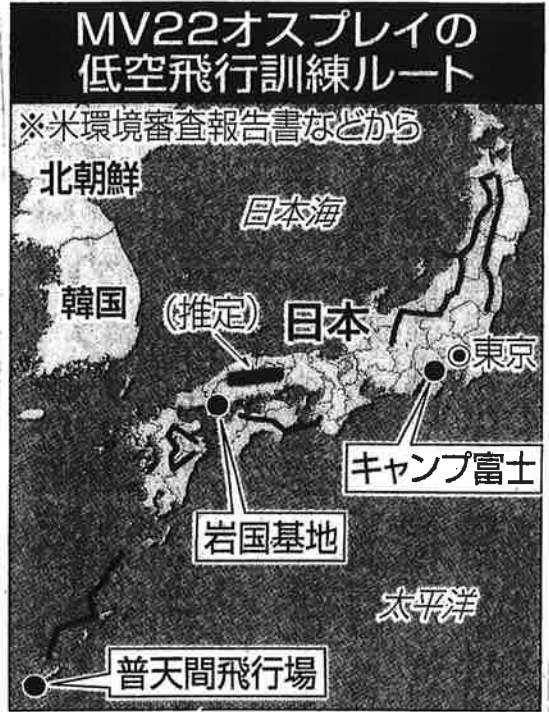
志賀差し止め訴訟 口頭弁論 福島避難者 廃炉訴え

金沢地裁

同県会津若松市から故郷の金沢へ四十六年ぶりに戻った宮田秀晴さん(66)は「会津の仮設住宅にはお年寄りが多く、生きる意味を失いつつある」と警告。「原発事故は被災者の心の健康を損なった」と強調した。

原告側は準備書面で、現行の安全指針類が想定する地震は過小評価であり、志賀原発の安全性は確保されていないとあらためて主張。昨夏の電力需給実績から、原発を稼働しなくても必要な電力は確保できると述べた。

北電側は、志賀原発と福島第一原発は立地条件などが異なり、福島島の事故によって志賀原発の危険性は裏付けにくい」と話した。



MV22オスプレイの低空飛行訓練ルート

※米環境審査報告書などから

オスプレイ九州で訓練

あすから、夜間飛行も

米軍岩国基地(山口)方で実施される。夜間(防衛省によると、米地に飛来。その後、大分県(防衛省九州防衛局が岩国基地)に配備されたオスプレイ三機が訓練する。六、八日の間に岩国基地に六機を輸送し、夜間飛行も行う。

福島から怒りの声を届けよう!!

志賀原発を廃炉に! 訴訟 第3回口頭弁論

2013年3月4日



会見する浅田真理子さん(前列右)と宮田秀晴さん(同中) = 4日、金沢市内で

(協力お願いします)

8(金) 8の日行動
JR魚津・富山・高岡
AM 7時20分

9(土) 福島原発事故から2年
原発いらんちや集会
AM 10:30. ポルッアートとやま
2F大ホール



ちぐはぐ